教室・講座・イベントの成果報告

主 催 者 名	神奈川県 環境・エネルギー学校派遣事業				
題 名・副 題	環境ってな～に？自然の不思議大発見				
月 日・時 間	2018 年 10 月 23 日（火） 13:30～14:30				
開 催 場 所	川崎市立の小学校				
部会・講師名	自然環境部会・廃棄物部会 石井 栄	参加者数	160 名	講師数	5名

写 真

始めに、環境とは何かを説明

動植物の働きって、こんなにすごいんだ

生き物の知恵が現代社会で役立っている

古紙で種（たね）の模型を作って飛ばした

成 果 解 説

川崎市立小学校の５年生全員 160 名の児童を対象に、体育館で「環境ってな～に？自然の不思議大発見」の教室を実施しました。

①私達が住む環境の生物多様性について説明。動植物など生命があるもの、土石や山川草木、人工物など様々ものに取り囲まれていて、互いに影響しあっていることなど具体例を挙げて解説しました。

②これら自然環境が人間の生活行動によって脅かされており、地球温暖化や生物外来種の氾濫など危機に直面していることも様々な実例を挙げて説明。

③人間より遥かに長い歴史を持つ自然の動植物の知恵には、これまで生き抜いてきた驚くべき機能や作用が隠されており、その機能や作用の不思議について実例を挙げて解説しました。そして、不思議な機能や作用の発見と解明が現代社会の技術に応用されていることも詳しく説明しました。

工作実験として、動植物の不思議の一つである空中を滑空する模型を、古紙を使って作って飛ばす体験を行いました。参考資料として授業レジメや授業の要点をまとめた気付きシートを配布しました。